

# (国) 福島大学

行政政策学類

キャリア教養学科 (橘高校出身)

(※2022年度入学者から新カリキュラムとなります)

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

入学前からです。聖母を受験すると決めたのも4年制大学への編入を支援していたためです。将来就きたい職業のことを考えると、4年制大学を卒業することが非常に有益であったことから編入を希望していました。

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

1年生の後期から編入対策の授業が始まります。そこで面接練習や小論文の授業など、編入するために必要なスキルを身に付けることができます。2年生になると1年生の時に作成した志望理由書を基に本格的な志望理由書を作成して面接練習を行ったり、各分野ごとに小論文を書いて専門の先生方に添削をしていただくようになります。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

1年生の後期に編入対策の英語担当の先生から、数種類の長文問題のテキストを紹介され、それらを参考に自分に合った参考書を購入し、自主学習を進めるように指導されました。編入対策の授業でも、自主学習を充実させること、各個人で先生方に積極的に指導をお願いするようアドバイスを受けました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

「時間を無駄にしないように」というのを常に意識していました。受験勉強に本腰を入れ始めたのは、空きコマが増えて自主勉強に多くの時間を費やせるようになった2年生からです。英単語の学習に最も力を入れ、通学時間のようなスキマ時間はすべて英単語の学習に費やしていました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

授業で学んだメタ認知と手帳を上手に使い有効活用することです。自分に最適な学習の時間配分ができるようになり、非常に力になりました。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

ある先生から「質より量」というアドバイスをいただき、それが役に立ちました。編入は受かるという絶対の保証がないために、思考が負のループに陥ることも多々ありましたが、そのような状況になった際に上記の先生の言葉を思い出し勉強に集中することができました。

Q. ①大学（短大）受験の時の気持ち・②短大入学時（学生生活）の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを教えてください。

①4年制大学に編入できるよう頑張ろう。

②このまま頑張っても本当に編入試験に合格できるかわからないし、就職した方が良いのではないかと悩んだ。

③今までの努力は無駄じゃないはずだし、あと〇日頑張れば終われるんだ。

④受験で自分の力を出しきれて晴れ晴れとした気持ち。

Q. これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

皆さんがそれぞれの思いを胸に聖母に入学してくると思います。私も入学当初は進学一辺倒の考えでしたが、聖母で過ごすうちに就職のような様々な道について考えを巡らせるようになりました。学び、経験し、皆さんがそれぞれに納得し満足できる道を選択できるように頑張ってください。

